

中二国語科通信

第2号
平成30年6月25日
国語科1年担当
奥池・日高・狭間

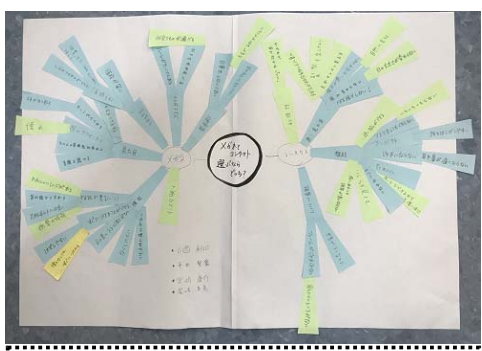


雨粒の残る葉裏にカタツムリを
見つけて吾子が「わあ」と言いたる

「二百字の獅子」 始動!

今年度は「百字の獅子」からさらに進化した「二百字の獅子」に取り組みます。字数・テーマともに昨年度よりは難しくなった中、さっそく第一回のテーマ「メガネとコンタクト、選ぶならどっち？」に挑戦しました。

文章を書くにあたり、頭の中を整理するためのロジック・ツリー（論理の木）略して「ロンボク」も作成しました。初めてのことで戸惑う人も多くいましたが、どの班も熱心に取り組んでくれたと思います。今年度も皆さんの表現力に期待しています!



メガネの長所・短所、コンタクトの長所・短所……など、付箋に書き出してグループ分けしていきました。

ゴルどく

「はるどく」に続き、5月にはゴールデン・ウィーク読書、略して「ゴルどく」を実施しました。はるどく同様、皆さんには読書案内を書いてもらいましたが、我々教科担の独断で数作品を選出し、図書館に展示してもらっています。ぜひ足を運んでみてください。 (左下には、惜しくも図書館には届かなかったけど、私たちの目にとまった作品のうち2作品を紹介します)



はるどく同様今回も、図書館に素敵なコーナーを作っていたいただきました! 井上先生からは、「次も楽しみにしています」というお言葉をいただきます!



さっそくもう貸し出されている本がたくさんありました。皆さんの言葉は影響力大! です。これからもどんどん紹介してくださいね!

『ヘレンケラー自伝』今西祐行

●三重苦（目・耳・口が不自由）のヘレンケラーは、サリバン先生と共に色々な物や言葉について学び明るい人生を生きただけです。ヘレンはたくさんの人と出会い、真つ暗な人生から困難を乗り越えていきます。ヘレンの人生の中でも「愛」は大切な言葉です。あなたはヘレンのよ切に、身近にある物や言葉を大切にしていますか。

(二組 Fさん)

『誰も死なないミステリーを君に』井上悠宇

●「きつと昔、空を飛ぶなんて馬鹿げたことだつてみんなは言ったけど、人間が今、空を飛べるのはそんな馬鹿げたことを信じた人たちがいたおかげなんだ。」という言葉は、自分が誰かの言葉を信じて、それが笑われるようなことでも信じ続けるとい意味で、この物語ではとても大切な言葉でもあり、主人公の優しさが感じられる言葉。

(三組 Y君)

「頑張らないリスク」

奥池 大和

初めまして。この場では初の登場となります。奥池と申します。去年まで高校文理科の方で指導をしておりましてが、今年度より中学校での配属となりました。今年一年間、よろしくお願ひします。

さて、中学生のみなさん。新年度が始まって三ヶ月がたとうとしています。日々を一生懸命に過ごせていますか? ついでにラララしてしまったり、サボってしまったら……。私の学生生活も思い当たる節は多々ありました。

ここで、ビルゲイツさんの言葉を紹介いたします。

「リスクを負わないのがリスク」

これって、勉強にも当てはまると思いませんか? 中学生なら、望んでいなくても頑張らなくていけるが、必ず何かからは成長します。でも、頑張らないで成長したものと、頑張って成長したものって、きつと後者の方が大きいと思いませんか? 「リスクを負わない」は頑張らない、と考えると、頑張らないリスクってとても大きくてすよね。

ついでに人間は楽な方に流れがちです。今やスマホ、パソコンなど、生活を便利にしてくれる道具はたくさんあります。勉強しているときに誘惑されることはあるでしょう。でも、そこで一度踏ん張って、立ち止まってみてください。そして考えてみてください。楽な方に流れたときの自分と、踏ん張って勉強をもう少し頑張った自分は、どちらがより成長できるのか。

人生はラッキーなことばかりではありません。自分のよりよい未来は自分の力で切り拓いてください。そのためのお手伝いには、力を惜しみません。